

イムノクロマト法残留農薬多成分検査キット

～目的の対象キットを組み合わせて一度にチェック～

豊橋技術科学大学 工学研究科 教授 岩佐精二、京都高度技術研究所 主幹研究員 三宅司郎
科学技術交流財団 主任研究員 足立香代、愛知県農業総合試験場 主任研究員 大竹敏也
株式会社堀場製作所 河野 猛

▶〈関連ページ〉8ページ

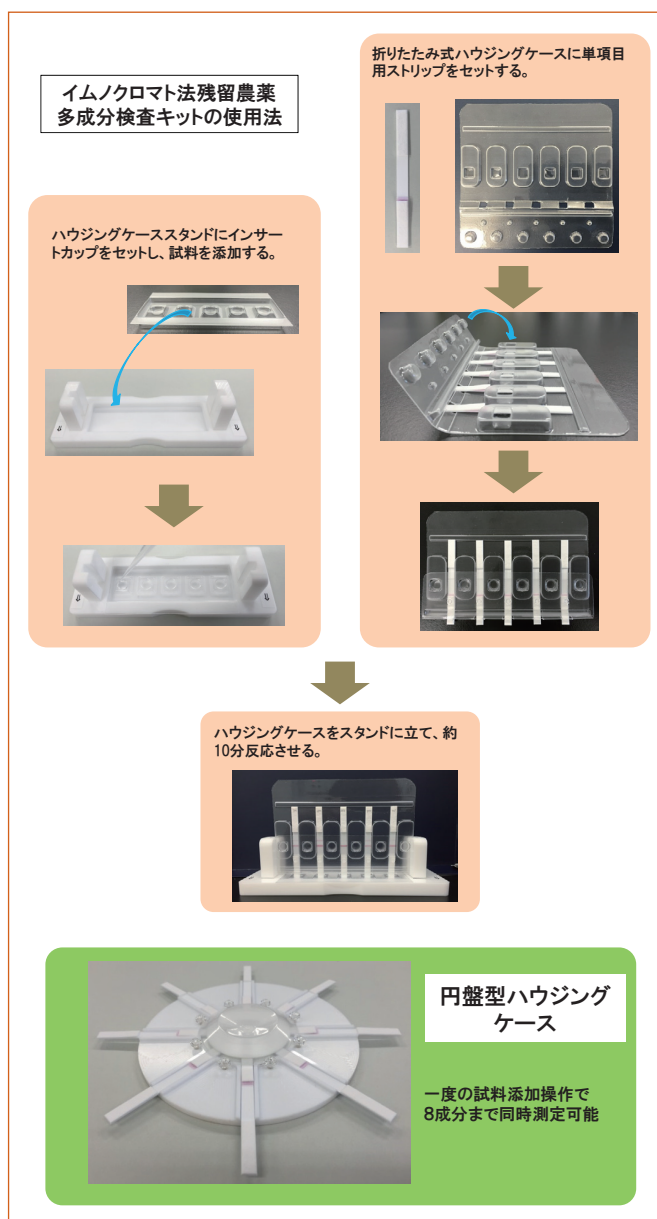
狙い 残留農薬の出荷前自主検査において、何種類かの対象農薬を一度に検査したいという要望に応え、お客様のニーズに合わせて項目を自由に選択することができるようなしくみになっている。単成分用ストリップを多成分検出用ハウジングケースに装着するだけで、測定的时间、簡便さは単成分用と同じである。「簡単・迅速・安価」な検査法により、残留農薬自主検査の充実を図るとともに、これまで自社内検査をすることができなかった食品関連企業などでも仕入れ時、加工前の検査を可能にすることにより、生産者を含む食品関連業の商品に対する自信・安心への一助となる。

用途 農作物の集荷場、出荷場での出荷前自主検査、食品加工業などの、仕入時の自主検査、土壌検査、河川、廃水等の水質検査、農業指導、農業関係の教育機関での実習等教育ツール、農薬メーカーの開発ツール、消費者団体、一般消費者による検査等。特に、持ち運びがし易いという特長により検査室に限らず、現場での検査に対応可能。

- 特長**
- ユーザー様のニーズに合わせて5種類の対象農薬を自由に選択でき、同じ測定試料中の多成分の農薬を同時に検出できる。(円盤型は8種類)
 - 測定は、サンプルを添加する1ステップのみで極めて簡単、インサートカップは使い捨て、スタンドもコンパクトで持ち運びし易く、現場での検査が可能。
 - 単成分用キットに比べて1成分あたりの測定にかかるコストが安価。

仕様

外 寸／(ハウジングケーススタンド)W:156×H:50×
D:35mm
(多成分検査用ハウジングケース)W:115×
H:75×D:5mm
重 量／未定(試作中)
その他／キットは別売り



■お問い合わせ／国立大学法人 豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 学長補佐 教授 岩佐精二
e-mail : iwasa@ens.tut.ac.jp 電話番号 : 0532-44-6817 FAX : 0532-44-6817
■特許の有無 : 特願2015-017356、特願2015-110192、特願2015-204622